



校訓「自主自律」  
学校教育目標  
○自ら学ぶ生徒  
○心豊かな生徒  
○言動に責任を持つ生徒  
○健康でたくましい生徒

## 振り返りを大切に～新年度に向け、志も新たに～

暖かな春の日差しを感じる日が多くなり、校地内の桜の開花もすぐそこまで来ているように感じます。1年生は、中堅学年の2年生に進級します。様々な面で学校の中心的な役割を担うようになります。上級生から引き継いだ伝統を守り、より良い学校づくりに力を発揮してください。2年生は、義務教育最終学年を迎えます。学校の代表として活躍するとともに、上山口中学校の新たな伝統を作り出してください。また、自らの進路決定に向けて充実した日々を過ごしてください。

「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉があります。各自が1年間の反省の上に立ち、新たな自分づくりに臨んでくれることを期待します。

## 卒業証書授与式

3月15日（水）、感染予防対策に配慮しながら本校体育館を会場に「第39回卒業証書授与式」が行われました。厳粛な雰囲気の中、卒業生一人一人に卒業証書を授与することができました。また、代表の言葉にはそれぞれ深い思いが込められ、感動に包まれる式となりました。今後、卒業生一人一人が夢や希望を胸に自身の道を力強く歩むとともに、明るい未来づくり、豊かな社会づくりの担い手として、それぞれの道で活躍してくれることを期待しています。ご卒業おめでとうございます。



### 在校生のこぼ

桜の蕾が膨らみ始め、優しい風に花の香る季節となりました。

三年生の先輩方、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

思い返してみると、先輩方が上山口中学校に入学した当時、新型コロナウイルスの流行により緊迫した学校生活だったと思います。様々な活動が制限され、先が見えず不安な生活の中、それでも自分たちにできることを懸命に探し、諦めずに進んできたからこそ今の先輩方があると私は思っています。

私たちが先輩方と過ごした日々は、とても貴重で、大切なものでした。例えば今年は、体育祭や合唱コンクールが例年と似た形で開催することができました。先輩方も初めての経験で不安だったかもしれませんが、しかし、先輩方は最上級生として、私たちを引っ張って下さいました。体育祭での一人一人が全力で走り一つのバトンをつなぐ、その迫力のある姿を見させて頂き、私たちに感動を与えてくれました。また、創作ダンスやソーラン節では、力強さとまとまりの美しさを感じることができました。合唱コンクールでは、今年はミュージズという大舞台で先輩方の歌声を聞くことができました。それぞれのパートがまとまり、深みのある美しいハーモニーが響きわたっていました。先輩方の美しい歌声は、今でも鮮明に思い出されます。それらの姿は私たちに、一つ一つのことに真剣に取り組む大切さを教えてくれました。先輩方は、私たちにとってとても偉大であり、憧れの存在です。これからそれぞれの道へ進んでいく先輩方を、今も、これからもずっと応援しています。どうか、この三年間を、仲間と乗り越えてきた日々を忘れないでほしいです。もし、辛いことや苦しいことがあったら、この三年間を思い出してください。この三年間を通して積み重ねた経験が先輩方を助けてくださるはずですよ。先輩方が卒業された後の上山口中学校は、私たちに任せてください。先輩方から学ばせて頂いた、真剣に取り組み、努力することの大切さを活かして精一杯、上山口中学校を支えていきます。先輩方も、ご自身で選ばれた道を信じて突き進んでください。

本来であれば、在校生全員が卒業式に参加し、先輩方の門出をお祝いさせて頂くはずでした。しかし、在校生全員の気持ちは皆同じです。在校生代表として、改めてお祝いの気持ちを伝えさせてください。本日は、ご卒業おめでとうございます。そして、今までの上山口中学校を支えてくださり、ありがとうございました。

先輩方の今後のさらなるご活躍と幸せをお祈り、送辞とさせていただきます。

在校生代表 NR

## 卒業生のことば



陽気な風に包まれる今日。春の祝福を受け、僕たちは卒業の日を迎えました。別れの時が近づくと共に、脳裏には三年間の思い出が次々と蘇ってきます。

三年前、僕たちの中学校生活の始まりは困難の連続でした。新型コロナの影響で日本中が不安に包まれていた当時、入学式は六月に延期され、電話越しに担任の先生の声の聞こえが遠く感じました。やっと学校が始まってからも分散登校、仲間の顔や名前すらはつきりしない日々と、自分たちが思い描いていた学校生活とのギャップに苦悩しました。分散登校が終わり、クラスが打ち解け始めて間もない中始まった最初の行事、体育祭。準備練習を進める上で不可欠だったのが先輩方です。先輩方の助けは、心強いもので、何もわからない僕たちを導いてくれたとても大きな存在でした。

二年生になると、色々な面で主体性が求められるようになり、だんだんと学校の柱となる自覚がそなわってきました。合唱コンクールでは「感染対策」と「合唱練習」の両立という難題に直面しましたが、協力して練習を重ね、体育館からの配信という形で成功を収めることができました。学年で、全校で知恵を凝らし成功させることができた達成感に感動したのを覚えています。

そして、三年生になり、全校を引っ張っていく立場となった今年度。中学生として初めての課外活動となった川越巡りでは、自分たちでルールや計画を作成し、入念な準備をして臨みましたが、当日は予想もしない大豪雨。水たまりにはまり足をビショビショにしながらも、仲間たちとの課外活動を完遂できたことがとても嬉しかったです。続く修学旅行でも、川越巡りでの経験を活かして各専門委員会を中心に二泊三日の計画を練り、京都・奈良の観光を楽しむとともに、班や学年の結束力を高めることができました。特に顕著に修学旅行の成果が表れたのは、旅館でのお女将さんから頂いた感謝の言葉です。感謝すべきなのは僕たちなのにも関わらず、涙ながらに感謝を語っていたお女将さんからは、コロナ禍の闇は、僕たち学生だけでなく社会そのものを覆っていたのだと気づかされ、同時に僕たちが培ってきた礼儀や行動がそれほどまでにお女将さんを喜ばせられたことに感激しました。

そして、修学旅行と同時期には、部活動の引退が行われました。部活動も僕たちの中学校生活を象徴する大切な活動だったと思います。一年生の頃、部活動が始まったのは七月に入ってからであり、やはり活動内容にも色々な制約がありました。夏休みから本格的に活動が始まって必死に練習を重ねても練習試合が中止になったり、大会が中止になったり挙句の果てには、練習そのものが中止になったりと努力が報われなくて嘆いたこともありました。そんな中でもめげずに練習し続けました。ついに力を発揮できたのが今年度です。苦労が大きかった分だけやりきった達成感は素晴らしいものだったのではないのでしょうか。

あつという間に終わってしまった三年間。積み上げてきた日々がかけがえのない思い出となり、これからの僕たちを支えてくれるのだと思います。「積み上げてきた日々」の中には、「怒られたこと」や「失敗」が「成功」や「嬉しかったこと」と同じくらい又はそれ以上にたくさんあると思います。ただ、思い出に残るのは美しいもの、あるいは美化されたものばかりになってしまうことはありませんか。けれども僕は、未来の自分を元気づけ助けてくれるのは、美しい思い出だけではないと思います。中学校卒業という人生の節目を迎えた今、僕たちは今までの自分の行動や出来事、自分自身を見つめ直す時が来たのではないのでしょうか。そうして手に入れていった強さが未来を切り拓く鍵なのだと思います。そしてきっと「コロナ禍」という強大な壁を共に乗り越えられた僕たちならば未来を強く生き抜いていけるはずですよ。まだまだ思うように行かないことが続いていくかもしれません。それでも前向きな気持ちを忘れず先へ進んでいきましょう。

最後になりましたが、僕たちを導き続けてくださった先生方、ここまで僕たちを見守ってくださった地域の皆さま、本当にありがとうございました。また、直接感謝を伝えることが叶わない先生に対しても心から感謝申し上げます。そして、お父さん、お母さん。思春期の僕たちの態度は面倒くさいと感じることもあったでしょう。感謝の言葉が返ってこなくて苛立つこともあったでしょう。そんな中でも、ずっと一番の味方として僕たちを信じ今日まで支えてくださり、本当にありがとうございました。これからもどうか温かく僕たちの成長を見守ってくれたら嬉しいです。そして三年間苦楽を共にしてきた仲間たち。本当にありがとうございました。個性に溢れたこの仲間たちだからこ学べたことが無数にあります。上山口中学校がこれからも深く歴史を刻んでいかれることをお祈りして卒業生の言葉とさせていただきます。

卒業生代表 TS



## 第2回学校評議員会を開催しました

2月22日（水）に第2回学校評議委員会を開催し、令和4年度の学校の取り組みについても協議をさせていただきました。委員の皆様には、ご多用の中ご出席いただきましてありがとうございました。いただいたご意見や評価をもとに、今後の教育活動のさらなる充実を図っていききたいと思います。

学校評価（上段）学校関係者評価（下段）

評価 Aほぼ達成（8割以上） B概ね達成（6割以上） C変化の兆し（4割以上）

領域	評価	
学校運営に関する評価領域	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して学力向上に向けた校内研修会立5回、ICTの活用について指導者を招聘し、2回の研修会を開催し分かりやすい授業を目指した取組を実施することが出来た。</li> <li>・本校会場に、所沢市学びの創造アクティブPULSの研究をもとに授業発表を行い、授業力向上の一助となった。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習態度も活発で良好であった。ICTの活用は、必要であると思うので、積極的に行ってほしい。</li> <li>・8割ほどの先生方がICTを活用していると聞き、先生方の努力が伝わってきました。授業の様子もとても活気にあふれていて、もっと見学していきたいと思いました。</li> </ul>
生活指導に関する評価領域	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上中8つの約束」のアンケート結果、「授業等で力を出し切る・時間の意識」の項目、協力して行事に取組む意識が高い状態で維持できている。</li> <li>・定期的に生活アンケート等と面談を行うことで、コロナ禍でも生徒の気持ちに寄り添った指導を年3回実施することができた。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ、PCの利用について、お話しした通り使用時間が問題でなく、使用目的が問題と感じる。しかし、SNSを通しての問題が顕在化しないための対策をしていくことが必要だと思います。</li> <li>・スマホ等の使用や朝食をとる、睡眠時間の確保といった生活習慣に関するものは継続が大事だと思います。今後も根強いご指導をお願いします。</li> </ul>
家庭・地域との連携に関する評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心豊かな生徒の育成を目指し、道徳の授業を活用しながら意識の高揚を図った。</li> <li>・HPを活用し、コロナ禍でも情報を発信し、開かれた学校づくりの一助となった。</li> <li>・社会福祉協議会、所沢消防署、所沢警察署等から講師を招聘し講義を通して、体験や知識を得ることができた。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、生徒にとって、地域との交流は大切と思います。今後も活動を続けてほしいです。</li> <li>・だいぶ「ウイズコロナ」になってきていますが、一度切れたものを復活させるのは大変だと思います。今後も地域との連携を強くして行っていただきたいです。</li> </ul>

保護者・地域の皆様へ

本年度も上山口中学校の教育活動をご支援いただいたことに心より感謝申し上げますとともに、今後とも子供たちの健やかな成長に向け、一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 上中 pride・上中 way～リスペクトされる存在に～

### 第十五回中央展覧会

埼玉県美術教育連盟長賞

埼玉県議会議長賞

### 第63回道路愛護ポスターコンクール

中学の部 優秀賞

TY

TY

「服の中で迷子になった人」

